

NPOとの協働事例

【事例10】

事業名	大地の芸術祭				
実施年度	平成10年度～	協働の形態	実行委員会		
事業内容	<p>○県が平成6年度から推進してきた地域活性化事業「ニューにいがた里創プラン推進事業」第1号として、十日町圏域の2市町（17年4月の合併まで6市町村）は「越後妻有アートネックレス整備構想」に取り組んできた。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin: 10px 0;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">越後妻有 アートネックレス整備構想</td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 大地の芸術祭 (H10～) ステージ（ふれあい文化施設）整備 (～H15) 花の道運動 (～H15) ステキ発見事業（写真コンテスト）(H10～11) </td> </tr> </table> <p>○「大地の芸術祭」は、越後妻有アートネックレス整備構想の中核事業としてスタートしたもので、当地域全体を会場として、住民と世界のアーティストの協働により開催する3年に1度の野外アートの祭典である。</p> <p>○これまで平成12年の第1回から、平成18年の第3回まで開催されており、目的である「地域の活性化、地域の情報発信、交流人口の増加」に向けて大きな成果を収めている。</p> <p>○大地の芸術祭実行委員会は、平成10年に地域の各種団体等により結成され、主催者の役割のほか、関連する地域の連携・協働の場を担っている。</p> <p>○平成19年の委員会組織改編により、十日町市と津南町等で構成される本部会議のもと、関係団体や住民代表で構成されるサポート会議が参画する形になっており、県はサポート会議の一員として参加している。</p>			越後妻有 アートネックレス整備構想	大地の芸術祭 (H10～) ステージ（ふれあい文化施設）整備 (～H15) 花の道運動 (～H15) ステキ発見事業（写真コンテスト）(H10～11)
越後妻有 アートネックレス整備構想	大地の芸術祭 (H10～) ステージ（ふれあい文化施設）整備 (～H15) 花の道運動 (～H15) ステキ発見事業（写真コンテスト）(H10～11)				
協働の相手方	団体名：大地の芸術祭実行委員会	法人格（ <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無）			
事業費（決算額）	106,400,000円（平成16年～18年度 第3回開催負担金として）				
協働に至る経過（協働事業を行ったきっかけ）	<p>【事業企画・提案者】 <input checked="" type="checkbox"/> 県（里創プラン当初計画の企画） <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> その他（広域事務組合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里創プラン事業として「越後妻有アートネックレス整備構想」が具体化する過程で、地元と県のあいだで徐々に形になってきたものである。 ・県は平成18年第3回大地の芸術祭まで里創プラン事業として支援してきた経緯があり、密接な連携により事業を行ってきた。 <p>相手先の選定方法（※委託事業の場合のみ） <input type="checkbox"/> 随意契約 <input type="checkbox"/> 企画コンペ <input type="checkbox"/> 競争入札 <input type="checkbox"/> その他（ ）</p>				
役割分担	<p>県：H18まで実行委員、H19からは情報支援と国とのコーディネート役 市町村：実行委員、事務局（H18まで広域事務組合、H19から十日町市） 地域住民：サポート会議として、また各地の作品参加者として広く参画する NPO：H20にNPO里山協働機構が設立され、将来は芸術祭の運営、作品の（ボランティア）維持管理、ボランティアのコーディネート等を担っていく方針</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 上記の他、 ・サポートチーム“こへび隊”…作品制作、芸術祭の運営 ・ “ ” “おおへび隊”…芸術祭の資金面での支援 などのサポーター組織、企業、芸術家等多くの連携・協働で芸術祭が運営されている。 </div>				

協働事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集客数 第1回大地の芸術祭(H12) 162,800人 第2回大地の芸術祭(H15) 205,000人 第3回大地の芸術祭(H18) 349,000人 ○ 越後妻有の地域名を全国に発信し、当地域を代表するイベントとして認知されるに至った。現在はさらに集客の通年化を目指している。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・大地の芸術祭プロジェクトの担い手となる地元の主体をつくり、経済的にも自立した運営をしようという取り組みは始まったばかりである。 ・NPO 里山協働機構の設立は、将来的に芸術祭運営の担い手となることを目指しているものである。
今後の協働事業実施の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・当地域の魅力を高め、全国から誘客できる力を持っている事業であるので、県としては情報支援などにより大地の芸術祭の開催を支えつつ、交流拡大を図っていく方針である。
事業担当部・課	産業労働観光部観光局 交流企画課 十日町地域振興局企画振興部 地域振興課 (TEL:025-757-5517)



担当者が語る

・地元と県との密接な連携の中でだんだんと現在の形になってきた「大地の芸術祭」ですが、今後は担い手となる地元主体をつくり、経済的にも自立した持続可能なプロジェクトにすることを目指しています。県や市町の関わり方も、これまでの直接的(金銭的)支援から新たな段階に入りつつあるところです。



「第3回 大地の芸術祭」開催風景